

(様式第3号)

### 平成18年度調査研究中間報告書

調査研究 課 題	ダイズ加工食品からの遺伝子組換え体(GMO)検知法の検討
計画期間	平成18年度~19年度 2年間
調査研究 計 画	<ul style="list-style-type: none"><li>• 種々のダイズ加工食品についてDNA抽出を行い、試験に適する純度での高回収が得られる方法を検討する。</li><li>• PCR法を用いた定量、ELISA法を用いた定量の比較を行い、ダイズ加工食品に適する定量法を検討する。</li></ul>
進歩状況	市販ダイズ加工食品10品目(ダイズ煮豆、豆腐、油揚げ、厚揚げ、高野豆腐、おから、ゆば、納豆、豆乳、みそ)について、2種のDNA抽出用キット(QIAGEN Genomic-tip 20/G, DNeasy Plant Maxi Kit)を用いてDNA抽出を行い、収率・純度の比較を行った。また、得られた抽出DNAを用いて定性PCR法にて定性試験を行った。
これまでの 成果の 概 要	<p>ダイズ加工食品からのDNA抽出法について、2種のDNA抽出法を比較した結果、食品の物性によって適否があることが分かった。食品の物性によって抽出法を選択することで、簡便に高収率でDNAが回収できることが分かった。</p> <p>抽出DNAを用いて定性PCRを行ったところ、納豆以外の品目について対照であるダイズ内在性遺伝子を検知することができた。</p>
今後の 計画・課題 対応方法	さらに検体数を増加してDNA抽出を行い、製品の加工度と抽出効率の関係について調査する。